災害時対応の行動計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 組織 | 地域難聴協 | 全難聴　理事会・情報文化部・事務局 |
| 被災難聴協 | 近隣難聴協 | 情報文化部・事務局（災害対応チーム） | 事務局 | 理事会 |
| 役割 | 現地対策 | 現地支援 | 後方支援 |  |
| 【準備期】・防災啓発・避難訓練 | ①本部設置の準備〔1-1〕②災害時の連絡体制の準備〔1-2,1-3〕③支援物資の備蓄〔1-4〕④会員データの管理〔1-5〕⑤福祉避難所の確認〔1-6〕⑥各都道府県下聴覚障害関係団体との連携体制の構築〔1-7〕⑦避難所巡回支援活動要領の作成〔1-8〕⑧避難所等の掲示ポスターの作成〔1-9〕⑨聴き取りシートの作成〔1-10〕⑩避難行動要支援者名簿の確認〔2-1〕⑪地域の防災訓練への参画〔2-2〕⑫防災啓発の実施〔3-1,3-2〕 | ※左記同じ | ①災害マニュアルの更新（随時）②福祉大会等での研修会の開催③難聴と災害関係の情報を発信（随時）④災害用連絡板SNSの開設（以降、随時発信） | ①関係団体との災害時の連絡体制の準備 | ①要綱の見直し（随時）②本部設置の準備③災害時の連絡体制の準備④防災意識の喚起（随時） |
| 【災害発生】・救助救出・避難行動・安否確認 | ①役員・会員の安否確認〔5-1〕②外部に被災状況や要支援内容を情報発信〔5-2〕③災害対策本部の設置〔5-3〕④災害関係のMLで情報共有〔5-4〕 | ①被災地付近で居住する会員の安否確認〔5-1〕 | ①災害対応チームの設置〔9-2〕②被災難聴協の被害状況を把握〔9-1〕③被災難聴協との連絡手段の確認〔9-2〕④当該ブロックとの連絡手段及び連携体制の確認 | ①厚生労働省に安否状況を報告〔9-3〕②義援金を集める〔9-3〕③義援金や支援物資の窓口の設置〔9-3〕 | ①対策本部の立ち上げ〔9-2〕②JDFや全要研、全日ろう連などとの連携を確認〔9-3〕 |
| 【応急期】・避難生活・支援物資の確保 | ①会員全員の安否、被災状況や要支援内容に関する訪問調査開始〔5-1〕〔8〕 ②支援物資の情報集約・要請〔5-2〕③外部支援者の募集〔5-5〕④制度外の支援活動における通訳者の活用〔6-1〕⑤外部支援者のコーディネート〔6-2〕⑥避難所巡回支援（情報提供、支援物資の配布、心のケアなど）〔8〕 | ※右記同じ①通訳活動や活動支援の実施〔7-1〕②義援金や支援物資の提供〔7-2，7-3〕 | ①訪問調査の後方支援②支援物資の確保に関する後方支援（集積、仕分け、本部への輸送、被災者への配布等） | ①支援物資提供業者との連絡〔9-4〕 |  |

* 図表内の【　】は、災害サイクルのある時点の名称を示す
図表内の〔　〕は、本マニュアルの項目を指す（例：〔1-1,1-2〕は、第１章の１及び第１章の２）